

自閉症のヴァイオリン・フルート・ピアノデュオ

ノブタク



Nobu Taku

オーケストラで出会い、休日はミュージシャン、平日は会社員

グループ名の「ノブタク」は名前の頭文字から。2010年、障がい者もメンバーとして演奏に加わったオーケストラ「コバケンとその仲間たちスペシャルオーケストラ」で出会い、そこでの二人の様子がNHKTV「福祉ネットワーク」で全国放映。2015年、2016年 香港自閉症才能コンテストに出場し、各々卓越表現賞・ベストリズム賞2年連続受賞。現在、会社員となって6年目。



本間惟彦【ノブ】 ヴァイオリン

1993年生まれ。

東京都杉並区在住。区立の小学校、中学校の特別支援学級を経て都立中野特別支援学校卒。幼少から多動、言葉の遅れが目立った中、ヴァイオリンの音色を好んだことから5歳より山口音楽教育センターでヴァイオリン療育を始める。最初はヴァイオリンを支えて立つ事から始まったが、左手の指で弦をおさえ、右手で弓を持って駒と並行に弓を動かすなど、多様な動作が増えてゆくとパニックや混乱もあった。あきらめかけると急にクリアしたり、その繰り返しかえしだった。中学校の頃から少し落ち着き、地元の児童館等で演奏活動を始める。現在はソロの他にアンサンブルでも活躍中。日本郵便（株）勤務。



小柳拓人【タク】 フルート・ピアノ

1994年生まれ。

東京都世田谷区在住。都立青鳥特別支援学校卒。幼少時、多動で奇声を発し言葉の遅れがあった中、唯一音楽に興味を示したことから、5歳よりピアノをはじめ。指番号へのこだわりや毎日決まったことを時間通りに行うことで落ち着くといった自閉症の特性がピアノ練習に功を奏する。2009～2012年「国際障害者ピアノフェスティバル」金賞他多数。2013年「ピョンチャンススペシャルミュージックフェスティバル」第1位。吹奏楽部をきっかけに12歳からはじめたフルートでは、オーケストラ参加やダンスとのコラボを展開。カナダ、台湾、韓国、アメリカ、中国でも演奏。ブログ公開中。大和ライフプラス（株）勤務。

演奏のご依頼・お問い合わせ nobutaku.duo@gmail.com

こんなコンサートやっています！

～自閉症のミュージシャン **ノブタク** による演奏とママたちのお話～

音楽がくれた希望 コンサート

ヴァイオリン、フルート、ピアノの演奏と共に、二人の歩みを写真や映像を交えてお話しします



♡会場に到着、きょうもがんばるぞ～！



♡まずは、オープニング演奏から。



♪ホール・ニュー・ワールド

♡お話のスタートは【二人の出会い】から。進行役はタクママ。



出会い
そして
ノブタク
デュオへ



♡お話の後はもう一曲。ピアノ伴奏はノブママ。



♪美女と野獣

♡【ノブの歩み】を紹介。5歳から、最初は先生二人についてもらってヴァイオリンを始め、今ではこんな曲も弾けるように。



♪チゴイネルワイゼン

♡【タクの歩み】を紹介。どちらもダメもとではじめた楽器。継続は力なり。海外演奏や受賞も多数。



フルートとピアノが
ほくに
つばさをくれた
タク
小柳 拓人
ブログ公開中



♪白鳥



♪ラ・カンパネラ

♡ノブとタクからは【会社員としての日常】を紹介。



♡最後は、会場の皆さんも一緒に。



♪上を向いてあるこう

自閉症は、その文字から自分の殻に閉じこもると誤解されることもありますがそうではありません。自閉症は脳の認知障害であり、物の認知の仕方、見え方、感じ方に違いがあります。そのことが、対人関係の難しさ、コミュニケーションの難しさ、こだわりや興味の狭さといった特性に現れます。こうした生きづらさを抱える一方で、記憶力など一部の機能が特に優れていたりすることもあり、音楽、絵画、文学、科学の分野で能力を発揮する人もいます。ノブ（本間惟彦）とタク（小柳拓人）は、音楽というツールによって自分の内面を表現したり、二重奏をすることで人と合わせる楽しさを感じ、今では音楽が日々の生活に欠かせないものとなっています。